

保護者の皆様

令和8年10月9日

川崎市立梶ヶ谷小学校  
校長 近清 えり子

令和8年度 川崎市学習状況調査、全国学力・学習状況調査  
結果の概要と今後の取組について

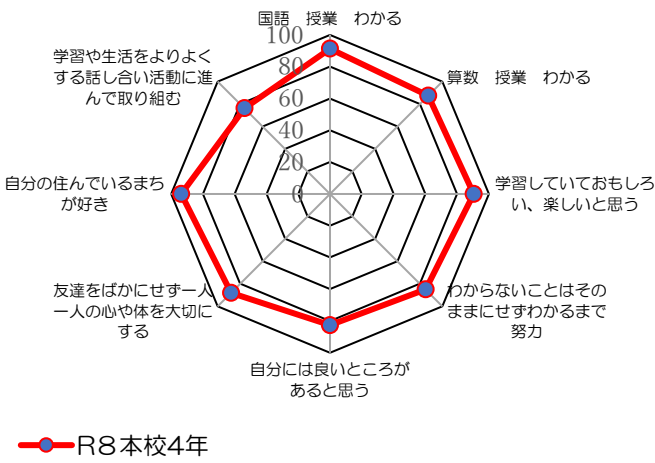
日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。4月10日（金）に行いました4～6年生対象の川崎市学習状況調査の結果と、4月23日（木）に行いました6年生対象の全国学力・学習状況調査の結果をご報告します。本校では学校教育目標（育成を目指す資質・能力、目指す児童像等）の実現に向け、日々の教育活動に取り組んでおり、今後は本調査結果を生かした取組をさらに進めてまいります。なお、本調査によって測定できるのは児童の実態の一部であり、学校における教育活動の一側面ですので、本資料につきましては、本校の教育活動の成果と課題を把握するための一つの指標としてお考えください。また取組の様子は、今後の学校だよりや学年だより、学校報告会や説明会等でもお伝えします。

学校教育目標（育成を目指す資質・能力、目指す児童像等）

自ら学び 自ら考え 心ゆたかに たくましく生きる子

- ・主体的に学ぶ子どもの育成（自主）
- ・共に支え合う子どもの育成（共生）
- ・自ら行動する子どもの育成（協働）

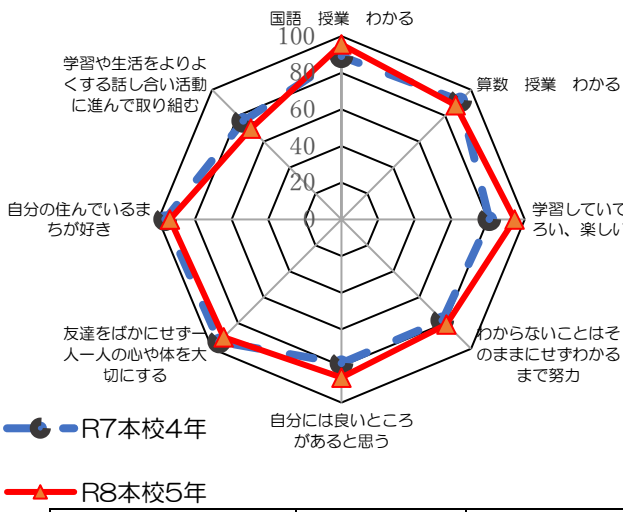
令和8年度 川崎市学習状況調査 4年生



|         | 国語「話すこと・聞くこと」 | 算数「思考・判断・表現」 |
|---------|---------------|--------------|
| R8 本校4年 | 75.4%         | 50%          |
| R8 全市4年 | 79.3%         | 50%          |

- ・本校の4年生は、ひらがなや計算などの基礎基本、漢字の読み（約9割）や指示語の理解（95.2%）といった基礎的な国語事項が極めて安定しています。算数では、棒グラフの読み取りといった「データの活用」（90.5%）で圧倒的に高い正答率を誇っており、情報を正確に読み取って処理する力に長けています。また、伝統文化（梶ヶ谷獅子舞）などの学習を背景に、郷土愛（まちが好き: 93.7%）や学習へのワクワク感（学習しているとおもしろい、楽しい: 90.4%）が非常に高いことも際立っています。
- ・国語では、文章の要点を要約する記述（36.9%）や、理由を明確にする記述に課題があります。算数では「3位数×2位数の筆算」や、場面をそのまま式に表す「口を用いた式」（35.7%）に課題が見られます。今後は、強みである基礎技能と高い学習意欲を活かしながら、児童が「伝えたい」「話したい」と思う発問をしたり、考えを交流する機会を意図的に作ったりしていきます。また、単に計算するだけでなく「なぜその式になるのか」をペアで伝え合う活動やGIGA端末を活用し考えを共有する活動を取り入れ、自分の考えを根拠とともに論理的に表現する力を高めていきます。

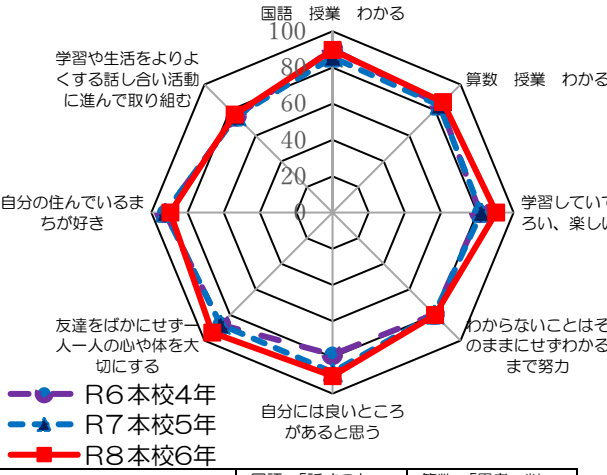
令和8年度 川崎市学習状況調査 5年生



|         | 国語「話すこと・聞くこと」 | 算数「思考・判断・表現」 |
|---------|---------------|--------------|
| R8 本校5年 | 85.1%         | 89%          |
| R8 全市5年 | 81%           | 83.1%        |

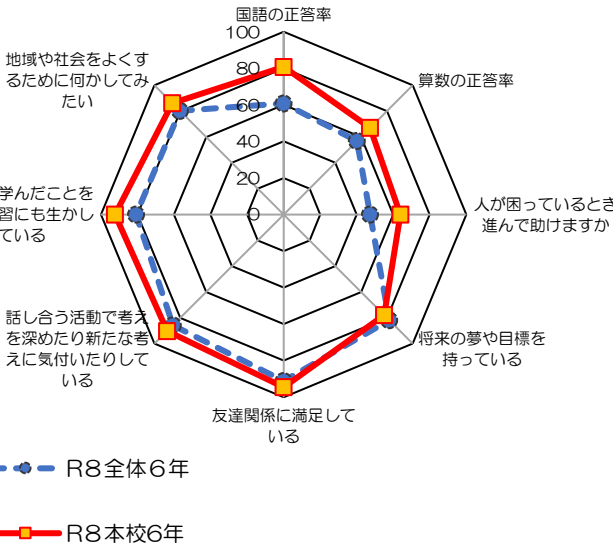
- ・本校の5年生は、相手の話を最後まで聞く「あたたかな聴き方」が定着し、挨拶や認め合いのできる集団（友達を認める: 90.9%）へと育っています。国語では「放送の内容を聞き取る力」が93.6%～97.2%をマークするなど抜群の聴解力を有しています。算数では「小数の仕組み」の理解が72.5%に達し、全市の平均（50.1%）を22.4ポイントも上回っています。学習が楽しいと答える児童も94.5%と突出しています。
- ・一方で、登場人物の「心情の変化」をまとめる記述（19.3%）や、国語の文法（修飾・被修飾の関係）の定着が課題です。算数でも、複数の条件を整理して解決する「面積の活用問題」（32.1%）や小数の除法文章題に課題があります。自然教室を通してこれまでよりも絆を強めてきた児童たちです。友達との交流を通して、様々な考え方に触れ、比較したり取り入れたりしながら、さらに深く思考できるように学習を進めていきます。

令和8年度 川崎市学習状況調査 6年生



|         | 国語「話すこと・聞くこと」 | 算数「思考・判断・表現」 |
|---------|---------------|--------------|
| R8 本校6年 | 77.9%         | 45.8%        |
| R8 全市6年 | 81.1%         | 46.7%        |

全国学力・学習状況調査 6年生



- ・本校の6年生は、最上級生としての自覚をもち、学校生活への高い満足度（学習しているとおもしろい、楽しい: 87.6%）と自己肯定感（自分にはよいところがある: 90.3%）が、学年が上がるたびに上昇しています。国語の漢字の読み書き（96.1%）や敬語の選択（87.5%）、算数の「三角形の等積変形」（94.5%）や「速さの記述」（80.0%）が定着していて、公式を適用・処理する能力の高さがうかがえます。
- ・熟語の構成（24.3%）や漢字の成り立ち（30.6%）といった言葉の仕組み、資料を統合して説明する論理的記述に課題があります。算数でも、「単位換算を伴う体積」（29.0%）や「0を含む平均」、複雑な場面（浴槽問題）での立式に課題が見られます。
- ・全国学力・学習状況調査において、国語正答率80.8%（全国比+20.0pt）、算数正答率67.0%（全国比+10.1pt）と突出した学力を示しました。「話し合いで考えを深めている（90.2%）」や「友達関係の満足度（94.5%）」も全国を上回りました。最高学年として仲間を信頼し、真面目にやるべきことにしっかりと取り組む意識が育っています。夏休み後は学年目標「考動」のもと、協働的な学びを深めるとともに、行事や地域貢献の場を通して、主体的に動く力や論理的思考力、実践力を高めていきます。